



琉球大学×カリフォルニア大学サンタクルーズ校 特別企画写真展示会



戦後80年

忘れられた風景をたどる——
写真が語る、戦後沖縄のはじまり

日時

2025年7月4日(金)10:00～
7月5日(土)18:00

場所

那覇市若狭公民館 第3研修室

専用駐車場がないため、お車でのご来館は近くの有料駐車場をご利用ください。

共同開催

UC SANTA CRUZ



(お問合せ先) global-education@acs.u-ryukyu.ac.jp

会場案内



——戦後80年の節目を迎える今、個人の記憶と記録を通じて沖縄の歩みを再考する——

カリフォルニア大学サンタクルーズ校（UCSC）と琉球大学による国際教育共同プログラムの実施

本プログラムには、UCSCの沖縄メモリーズ・イニシアティブ（Okinawa Memories Initiative）、カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校（CSUMB）、カリフォルニア州立大学イーストベイ校（CSUEB）から学部生17名、大学院生および教員を含む計25名が参加しています。

参加学生たちは、沖縄における様々な歴史的経験——特に沖縄戦、米軍統治下の生活、そして日本復帰に関する記憶と歴史をテーマに調査・学習を行っています。

今回の訪問では、UCSCが所蔵する、米軍統治下の沖縄に駐留していた軍医チャールズ・ゲイル氏による貴重な写真を公開します。本展示は、沖縄戦後の生活や風景の記録を通して、地域の記憶と変化をたどる試みです。

当時撮影された写真の多くはこれまで一般公開されていない貴重な資料であり、米軍基地の本格的建設が始まる以前の、忘れられつつある戦後沖縄の姿が数多く記録されています。

しかしながら、多くの写真は撮影地に関する記録がほとんど残っておらず、皆様の記憶や知識が歴史の解明につながる重要な手がかりとなります。

ご来場の皆様には、写真の場所や背景について、情報提供を呼びかけます。



沖縄戦後80年という節目の年、
写真とともに歩んだ記憶を未来へと紡ぐ場に、ぜひご来場ください。
皆様のお知恵とご記憶が、貴重な歴史の一端を照らす力となります。

沖縄メモリーズ・イニシアティブ（Okinawa Memories Initiative）は、
カリフォルニア大学サンタクルーズ校、ヒューマニティーズ・インスティテュート、
カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校、カリフォルニア州立大学イーストベイ校、
エンブリー・リドル航空大学、そして琉球大学による共同プロジェクトです。

「戦後 80 年：琉球大学×カリフォルニア大学サンタクルーズ校特別企画写真展示会」

ご案内

ーカリフォルニア大学サンタクルーズ校 × 琉球大学による国際教育協働の軌跡ー

カリフォルニア大学サンタクルーズ校 (UCSC) を拠点とする Okinawa Memories Initiative (OMI) は沖縄戦後の社会変容と記憶を学際的・体験的に探求している公共歴史プロジェクトです。OMI は 2013 年に「Gail Project」(ゲイル・プロジェクト) としてスタートし、チャールズ・ゲイル氏 (米陸軍大尉・軍医) の 1952-53 年沖縄撮影写真の発見が契機となり、公共歴史およびコミュニティ・ダイアログ型の教育プログラムとして発展してきました。

2014 年以降、OMI は教員、大学院生、学部生が参加し、オーラルヒストリー (口述歴史)、展示企画、アーカイブ調査、メディア制作などの実践スキルを学ぶ場を提供してきました。現在は、UCSC、そして本学と連携し、学生の体験学習を通じた歴史理解の深化と地域貢献を進めています。

チャールズ・ゲイル写真展について

ゲイル氏は 1952-53 年に沖縄本島で数百枚のカラー写真を撮影し、そのうちの貴重なコレクション約 150 枚は UCSC マクヘンリー図書館に受け継がれ、デジタル化と共同調査の対象となってきました。

展示期間は 2025 年 7 月 4 日 (金) ～5 日 (土)、会場は那覇市・若狭公民館です。多くは未発表の貴重な写真であり、戦後沖縄の黎明期の生活や風景を記録しています。地域の皆様にはぜひ来場いただき、撮影場所や出来事の情報提供にご協力を頂きたく存じます。

国際教育共同プログラムの協働実施及びその意義

当プログラム全体は 2025 年 6 月 21 日～7 月 21 日に実施され、UCSC、カリフォルニア州立大学モントレイ校 (CSUMB)、カリフォルニア州立大学イーストベイ校 (CSUEB) より学部生 17 名、大学院生・教員を含めた計 25 名が参加します。訪問学生たちは、戦後 Okinawa における歴史と記憶-特に「ヌチグスイ (命薬)」としての食文化を通じた歴史継承について学び、地域社会との対話と共同学習を行います。

フィールド学習やプログラム運営において本学が中心的な役割を担っています。本学側の教員・学生が現地で企画・支援し、UCSC から訪問学生との交流・学びを深める体制を整えています。今回もその協力体制の下、写真展と連動した学び合いの機会を創出しています。

別企画写真展示会概要

タイトル：チャールズ・ゲイル写真展 ～戦後 80 年、忘れられた沖縄をたどる～

会期：2025 年 7 月 4 日（金）～ 7 月 5 日（土）10 時～18 時

会場：那覇市 若狭公民館

主催：琉球大学

共催：カリフォルニア大学サンタクルーズ校 Okinawa Memories Initiative (OMI)